

令和6年度 駿河台こども園 教育活動等に対する学校評価

令和7年2月27日

1 こども園教育目標 …

明るく素直な子

思いやりのある子
進んで遊ぶ子
考えて遊ぶ子

2 本年度の重点目標 …

笑顔あふれる安心の基地

※評価点 4(十分に成果があった、十分にできた) 3(成果があった、できた) 2(少し成果があった、すこしできた) 1(成果がなかった、できなかった)

(No. 1)

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6	
1教育・保育の計画性	①園の教育理念・教育方針を理解している	3.2	3.2	3.2	・理解している。教育目標、重点目標の理解と推進に努めた。 ・明るく素直な子を意識し保育しています。 ・主体性を育む保育が出来ているのかと悩むことが増え、園の教育方針が合っているのかどうかかわからなくなってきている。
	②認定こども園教育・保育要領の理解に努めている	3.1	3.1	3.1	・教育保育要領は研修の際などには目を通すが、日々の保育の中でも活用できる内容なので意識的に目を通すようにしていきたい。 ・理解には努めているが、今年研修を受け再確認が必要と思った。 ・今後も努めていきたい。主体性とは何かについて常に悩んでいる。
	③園の教育目標や教育・保育要領を元に教育課程や指導計画を立てている	3.3	3.2	3.3	・園で立てているねらい+今の子どもの姿をみて計画している。 ・乳幼児は三つの視点、五領域また幼児期が終わるまでに育てたい10の姿を計画や研修に入れている ・架け橋プログラムで新年間計画ができ、11月以降はそれに基づき立てている。
	④乳幼児の発達段階や実態などをベースに、歳児ごとの指導計画を考え作成している	3.4	3.4	3.5	・一人一人の生活経験(環境)の違いや特性や発達段階をみて経過記録をつけ、歳児ごとの計画をしている。 ・担任の先生が作成している計画を講師にも共有してくれているので同じ方向性で行っていていると思う。
	⑤こどもの生活や動き・思いを大切に環境構成を工夫している	3.4	3.4	3.1	・子どもの自分でやりたい気持ちを手助けできるよう心がけている。 ・子どもの成長や思いに合わせて、遊ぶ玩具ややりたい事が出来るように、クラスの担任と話し合う事が必要だと感じた。 ・環境構成はできたと思うが、その時の状況で我慢させてしまったこともあった。
	⑥幼児期の終わりまでに育てたい10の姿や小学校との連携・接続(架け橋カリキュラム等)を意識している	3.1	3	2.9	・新しい架け橋カリキュラムや小中学校との研修も何回か受けることができ、小学校の先生と話す機会もありよかった。 ・小中学校の参観・研修に参加し、連携や接続の大切さを感じた。 ・研修時に10の姿で振り返るが、普段はあまり意識できていない。
2保育の在り方・子どもへの対応	①朝の登園時には特に視診を大切に、こどもの体調が悪くないか確かめている	3.6	3.7	3.6	・登園後の検温だけでなく、顔や表情、機嫌等を見て確かめている。 ・視診触診を大切に、個々に触れ、保育者間で体調を確認し合っている。 ・毎日の検温と視診をしているが、感染が広まることも多いので、家庭内でも体調不良や症状がある時は、受診等の対策をして欲しい。
	②一人ひとりの思いを大切に受け止め、個に応じた支援を心がけている	3.5	3.5	3.4	・先生に言えない子も中に入るので、子どもの気持ちを汲み取ることに意識して声掛けを行ってきた。 ・集団生活の中でも、できる限りその子の思いを受け止めて支援したいと思うが、担任の気持ちもあるのではなかなか難しい時もあった。
	③遊びこめるような環境や時間への配慮をし、こどもの自主性・自発性を大切にしている	3.2	3.2	3.2	・遊びが継続しないことがあるが、時間を見つけては外でのびのび遊んだり子どもの声を聴いて遊びを展開することに心がけた。 ・昨年より改善できた。適度な声掛けや接し方を心がけた。更に努力したい。 ・子どもの好きな遊びを思い切り楽しめるようにしたいが、実際は活動や行事に追われてしまう。もう少し遊

評価対象	評価項目	自己評価			学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6	
2保育の在り方・子どもへの対応	④行事や活動を通して、こども同士のかかわりや異年齢児との交流を大切にしている	3.3	3.4	3.3	・今年は、余韻遊びを昨年より楽しめ、交流ができた。夏祭り、ハロウィンでの交流も楽しかった。 ・行事の時期は時間に追われるが、異年齢児と仲良くできている。 ・異年齢の交流、すすく部内の交流もよくする。すすくすとわくわくの交流が少ないので、もう少し計画的に交流の場があればよい。
	⑤教職員全員が、全園児について理解していくように工夫や努力をしている	3.2	3.1	3.1	・職員会議のケース会議などで困り感を共有できたことはよかった。 ・エルガナや会議の内容を確認し、全体で子どもの姿を共有できた。 ・午後の時間等も使い、学年間によく話ができていた。しかし、他学年や部外になるとわからない。
	⑥支援の必要な園児の教育・保育について、定期的に話し合う機会を設け、個に応じた個別の支援計画を立てている	3.3	3.0	3.1	・職員会議後にケース会議を設けたり、保育終了後に学年間問わずコミュニケーションを取り合ったりして、対応や関わり方を学ぶことができた。 ・個に応じた支援してきたが、定期的に話し合う時間を増やしたい。 ・個別に支援計画をもっと活用できないかと思う。
	⑦不適切な保育とならないように、定期的にチェックや話し合う機会を設け、こどもの最善の利益を尊重した教育・保育に努めている		3.2	3.2	・職員同士で保育の仕方を確認して話し合っている。研修でも学べた。 ・これだと不適切だよな…と意識をし、次はこう対応しようとして話し合うこともあった。 ・思いがわくわくしていることも人から見たらそう見えてしまうことがあるかもしれないので気をつけたい。自分自身、不適切保育をしないよう心掛けている。
3教職員としての能力や良識・適正	①教職員としての話す力や聞く力の向上を意識している	3.1	3	3.1	・コミュニケーションはすべての土台だと思うのでこれからも向上を意識していきます。 ・意識はしているが、向上しているかの自信はない。話す機会もあまりないので、低下している気がする。聞く力をもっとつけたい。
	②こどもや、保護者との対応には、公平さを欠かさないように平等に接している	3.6	3.5	3.5	・誰に対しても公平に接するように心がけています。 ・あいさつや子どもの頑張った事など伝えるようにしている。 ・なるべく平等に接するようにしているが、苦手な保護者へはきこちなくなってしまうと思う。
	③自らの健康に配慮し、爪が伸びていないか等、保育上での安全性にも気をつけている	3.7	3.6	3.6	・安全面に気をつけ、配慮するようにしている ・身だしなみには特に気をつけた。 ・体調管理や衛生に気を付けています。 ・今後も意識して努めていきたい
	④教職員同士のコミュニケーションを円滑にし、片寄った人間関係を作らないようにしている	3.2	3.2	3.2	・どの先生とも話すようにしている。いつも感謝の気持ちを忘れない。・やはりどうしても話しやすい先生、緊張してしまう先生がいる。 ・片寄らないようにしているが、同じような立場や経験年数の職員に相談等をしやすいのも事実。
	⑤こどものささやかな成長を見取り、それを喜ぶことができる	3.8	3.8	3.9	・大変な毎日だが、できるようになった瞬間に立ち会えるのは嬉しい。 ・こどもの成長を喜び、その都度保育者間でも共有している。 ・担任だけでなく、関わってくれる教職員の方々と共有しています。 ・些細に思える事でもアンテナを張り、こどもの成長に気付きたい。
	⑥園のこどものことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある	3.1	3.1	2.9	・毎日ニュースをチェックするように心がけている。 ・季節の変化やスポーツの話など子どもにも伝えるようにしている。・自然への興味はあるが、社会的出来事があり理解出来ない。 ・自分の興味あるものに片寄るのもっと世間の動向に目を向けたい。
					・小学校も同様だが子どもや保護者との対応は、言葉遣いや態度に公平さを欠かないよう心がけることが大切。 ・人を教える者の土台となる所です。教育者としての尊さや矜持を大切にしたい。あるとは思いますが…。 ・担任以外の先生も全ての子どもに配慮してくれるのが有難い。仕事を通じて子どもと共に成長するものなので、楽しく仕事をしてほしい。 ・先生方に負担にならないように明るくやってほしい。 ・「共有」はとても大切なことです。 ・話す機会が減ったのはどの組織にもある問題だが、保育に影響がないことを望む。⑥は、非常に重要なテーマなので、外部の人との交流も必要かも知れない。 ・普段相当お忙しいので、自然や社会に目を向ける時間はないと思います。リフレッシュ休暇を増やすのは…難しいですね。 ・先日、逆上がりが出来たら「先生と一緒に喜んで褒めてくれたよ！」と子どもが嬉しそうに話をしていた。沢山の子どもを見ている中で、小さな事に気付く先生に喜んでくれた先生の対応が⑤を意識されている結果であることは勿論だが、先生方の園児に対する愛情を感じた。 ・年中の時、三角積木が登れたことを送迎時に担任外の先生が教えてくれたことを覚えている、担当のクラス以外の子どもを見てくれていてとても嬉しかった。

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員
		R4	R5	R6		御意見
4保護者への対応	①こどもの様子や園情報は、直接話したり、電話・連絡帳等を使ったりして保護者に適切に伝える	3.5	3.5	3.4	・なかなか会えない保護者の方もいるので、電話で伝えたり少しの怪我やトラブルでも必要に応じては電話で伝えるようにしている。 ・なるべく連絡帳ではなく、電話や口頭で伝えるようにしている。 ・こまめに声をかけるよう意識した。時々忘れて後日伝えることもある。	・保護者への丁寧な対応が出来ている様子が伺えます。その事が、保護者アンケートの結果にも表れている。 ・多様な保護者が増えている中で安全と同様高い評価になっている。信頼を得る上で大切。教育は人であり大切にしたい。
	②保護者との会話は、正しい日本語・敬語で語りかけ、相手の話には謙虚に耳を傾けている	3.4	3.3	3.2	・きちんとした言葉遣いを意識している。 ・相手のお話を最後まで傾聴し、寄り添うことを心がけています。 ・対応は難しいが、丁寧に対応するよう心がけている。 ・すべて正しい日本語が使えていたかはわからない。	・先生方は非常に努力しており有難い。お便りのオンライン化には課題があるようだが、使い方などを説明する機会等を増やし進めていけばどうか。 ・保護者も様々で大変だが、ぶれないで頑張っている。 ・多様性だったり価値観の違いだったり難しい世の中だと思う。
	③園児や保護者の個人情報の管理については園の方針に従い、情報が流失しないようにしている	3.8	3.9	3.8	・意識している。個人情報、全体に話さない。 ・個人情報の管理は気を付けている。 ・個人情報を噂話の段階で口にしてしまう心配もあるので、安易に噂話をしないよう呼びかける必要もあると思う。	・評価委員会の中でもテーマになったが、オンライン配信のデメリット部分を補足する取組が必要だと感じる。最も注意すべきは子どものネット依存なので、そこへの注意喚起は繰り返し行うのがよい。
	④保護者からの具体的な意見・要望には適切に対応し、上司に連絡・報告・相談をする	3.7	3.6	3.6	・どんな小さなことでも主任、主幹、担当の先生には伝えるようにしている。 ・連絡帳の内容については、主幹、副園長に確実に確認してもらっている。返信内容や伝える内容についても相談して返している。 ・何回か曖昧に答えてしまったことがあり、それ以降は上司に相談している。	・先生と話していて気になる話し方はなかった。送迎時の短い時間でも園での様子を教えてくれたのでよかった。
5地域の自然や社会との関わり	①園へ見学に来た人に、園の教育方針等を質問されても、きちんと答えることができる	2.8	2.8	2.8	・担当の係として、ちゃんと伝えられるようにしている。 ・突然問いかけられると言えないかもしれない。改めて確認していきたい。 ・相手に伝わるように説明できる自信がないため、理解に努めます。	・園への外部協力者に委ねることはできないでしょうか。コーディネートしてくれる方はいと思います。 ・自然や地域社会との関わりの減少は社会全体の問題で、貴園では非常によくやっている。園における体験活動は生涯を通じて貴重なものになっている。
	②こどもの教育のために、利用したい地域の施設や機関、素材について理解している	2.6	2.7	2.6	・遠足や散歩で地域の施設を利用することがあるが、理解が深まった。・地域の施設や機関についてまだまだ勉強不足と自分で感じる。 ・次々と出てくる新しいことやものに対応できるようにこちらも勉強していくことだと思います。	・自治会の催しに参加をお願いします。 ・以前より交流の機会が増えているように感じる。
	③地域開放や子育て支援について、具体的な内容を理解している	2.6	2.7	2.6	・おおよそ理解している。 ・今年研修に参加して、担当として更に理解を深めたいと思った。 ・具体的に理解できるように努力していきたい。 ・保護者の負担を考えると園を利用して欲しいが、子どもの負担と願い、職員の負担を考えると悩む。子どもを真ん中にして考えたい。	
6安心と安全	①ヒヤリハットの事例については振り返りを行い、大きな事故につながらないようにしている	3.6	3.5	3.5	・安全に生活ができるように常に振り返り、改善するようになっている。 ・エルガナでの共有が写真付きでわかりやすいです。 ・2度目はないように職員が近くにいたり、事前に対策している。 ・職員会議や打合せ、エルガナで共有し、次に繋げている。	・保護者からの評価も高くなっており、危機管理がしっかりとなされていることがわかる。 ・危機管理マニュアルは全てに対応し1枚にまとめられており、意識づけだけでなく役立つものになっている。
	②安全点検、検食、訓練等は適正に実施対応し、安全意識・防災意識を高めている	3.3	3.4	3.6	・毎回丁寧にできた。危険性はないか確認している。 ・訓練は毎月計画的にできた。振り返りも丁寧に次回に繋がっている。・マニュアルは整備されている。ケガが多くなっていると思うので、小さなことでもすぐに対策していくことだと思う。	・先生方の動きを拝見し、とても安心できる。危機管理マニュアルを1ページにまとめて携帯することは、素晴らしいアイデアである。 ・大変気配りをしていることがわかる。継続してほしい。
	③健康で安全な生活を守り育てるために、感染症対策等に自ら取り組み、こどもや家庭への啓発に努めている	3.4	3.5	3.5	・配信の回数を増やすなど、健康や安全について啓発に努めている。 ・手洗い、うがいなどできることは伝えている。 ・コロナ禍に比べ甘い面はあるが、経験を生かしてよく対策している。 ・感染対策は自分ではしっかりできたが、家庭への啓発までいかない。	・二重三重のチェックを是非お願いします。 ・手厚く対策が取られている。 ・先生方がとても気を付けて見ていてくれていることに感謝です。
	④閉じ込め・置き去り・取り残などないように状況に応じ、点呼や人数確認を確実にやっている	3.8	3.8	3.6	・戸外に出た時は特に把握していけるように、広範囲に目を配るように意識しています。 ・思い込みや勘違いということも起こり得るので、二重三重のチェックが大切だと感じている。	

評価対象	評価項目	自己評価				学校関係者評価委員 御意見
		R4	R5	R6		
7研修と研究	①遊びと生活の専門性(職務の専門性)を高め、知識や技能を身につけるよう研修している	3.0	2.9	3.1	・今年もたくさんの研修に参加できた。 ・部会の資料を読み直し、保育雑誌やネットで情報を得ている。 ・研修に参加する機会が少ないので、参加してみたい気持ちがある。 ・勤務時間内で研修できる機会が増えるといふ。	・非常勤講師の研修の機会は小学校でもほとんどない。組織を上手に組んでOJTを進めていく、つまり研修の日常化を進めていくことが大切。 ・子どもが在園している中で研修時間を取ることは困難だと思う。小中との研修や副園長の出しているペーパーや話で学びになっていると思う。 ・研修も充実しており感銘を受けた。研修は必要なものだが、時間をセーブするためにICTの活用など検討したらどうか。 ・スキルアップ等、仲間との話し合いが一番だと思う。 ・親身になって聞いてくれる先輩の存在が嬉しいですね。 ・向上心のある先生方が多く、相乗効果をもたらしている。 ・ICTですが、もっと利用できていない企業や組織を知っているので、十分活用できていると思う。
	②日々の実践を見合い、検討・反省・評価を加え、教育・保育の質の向上に繋げている	3.1	3.2	3.1	・日々の保育を振り返り、今後に生かせるように取り組んでいる。 ・子どもへの接し方は日々勉強です。先生方の接し方や言葉掛けが自分とどう違うか振り返るようにしている。 ・保育の準備等に追われてできていない日もある。	・年長を連れ小学校の運動会に行ったり、先生方が学校の授業を見に行ってくれたりするのでよい。 ・先生の影響は大きく、先生から聞き学んだ事はとてもよく覚えていたり、興味を持ったりする。先生が好きな事(趣味)を子どもたちと共有してくれたら素敵だなと思う。先生方の負担が減って休日にしっかりリフレッシュできたらいいなと思う。
	③自分の教育・保育の在り方や悩みについて、同僚の教職員や上司等と話し合っている	3.1	3.1	3.2	・話を親身になって聞いてくれる先輩方がいるのでありがたいです。ありがとうございます。 ・相談しやすい環境だと感じる。上司にも相談できている。 ・今後も努めていきたい。雰囲気作りも大切にしていきたい。	
	④専門知識や技能の他に、趣味や読書・ボランティア活動などにも関心をもっている	2.8	2.8	2.8	・地域の方との交流を大切にしています。 ・好きな事でのボランティアをした。 ・なかなか出来ていないが、今後もアンテナを張っていきたい。 ・趣味はあまり持っていない。	
	⑤パソコンやタブレット・スマートフォンなどのICT機器を前向きに活用し、教育・保育の充実に努めている	3.0	2.9	2.8	・出来ることも増えている。保育に活用できるよう努めている。 ・活用しているが、苦手である。努力していきたい。 ・苦手ではあるが必要なことは詳しい職員に教えてもらい覚えるようにしている。	

113 115 114

<こども園の教育・保育をより充実していくための提言> 充実・改善事項、厳選・削減事項など御意見をお聞かせください。	
○こども園の理念や方針を小学校と共有し、小1ギャップをなくしていく。そのために、職員の相互交流や子どもの交流等を推進していく。 ○杉本副園長の評価から、かなり細かな所まで配慮や実践している様子が伝わった。その経営に感心した。こども園教育の充実、先生方の意識づけに役立っていることがわかる。先生方の負担とのバランスが大切になってくると思う。少子化で経営的にも困難さが増す中で、現在の園の教育姿勢は十分アピールできると思う。 ○保育の質を上げるために、政府や大学が様々な提案をしてくるが、その対応に追われて先生方が忙しくなりすぎることに懸念する。ペーパーレス化はあらゆる場面で進められているので、批判はあっても保護者会長等に主導していただき進めていったらどうか。保護者の中には専門技術を持っている方も多いので、ボランティアをお願いするなども検討してよい。実施済とは思いますが、アンケートはオンラインで、研修はビデオに録り空き時間に各自視聴がよい。 ○大変清潔な環境と安全意識も高く素晴らしいこども園である。子どもに「楽しかった」と思い出に残る園だと思う。 ○ペーパーレス化は一長一短で、なかなか深いものがあります。 ○幼児期からのネット依存傾向の増加が顕著になっているため、保護者向けの何らかの対策をしては如何でしょうか。(講座など) ○いつも有難うございます。インスタグラムでの情報発信ですが、素材となる写真を先生方だけが撮るのは大変かも知れません。保護者の方が何かのきっかけで来園した際に撮った写真を提供してもらおうのもよいかもしれません。 ○協議で出された、写真のことやお便りの紙の廃止など、先生方の業務が増えないように程よく手を抜けるというか負担を減らしてほしいと思った。積極的な保護者は少ないと思いますが、手伝ってもらえる所は頼んでもよいと思う。クラス役員は役割もあってよいと思う。 ○先生方の子どもたちに対する思いが溢れていて感謝しかありません。この場に参加することで先生方の頑張りや努力を改めて知ることが出来た。駿河台こども園の充実した取組が、少しでも多くの保護者にもっと伝わるとよいと感じた。	